

事業報告（平成29年度）

1. 法人の概要

法人名 学校法人 静岡和洋学園

設置する学校と学科

静岡女子高等学校

全日制課程 普通科 家政科 商業科 福祉科

	学則定員	1年生	2年生	3年生	計
普通科	240人	53人	51人	61人	165人
家政科	120人	30人	27人	28人	85人
商業科	120人	33人	38人	30人	101人
福祉科	120人	22人	23人	33人	78人
計	600人	138人	139人	152人	429人

学科等の学則定員・学生数の状況（平成30年4月1日現在）

役員、教職員の概要等

理事長 1名

理事 7名

監事 2名

校長 1名（理事）

教頭 1名

教諭 25名 講師 24名 司書 1名

事務職員等 7名

2. 事業の概要

- （1） 創立100周年に向けて、全校生徒の願いを込めたスローガン「過去を、未来を、今を大切に。」を決定し、記念事業に向けて具体的な活動に着手致しました。
- （2） 創立100周年記念事業の一環として、生徒の国際交流を図るため、台湾研修を企画し、全校生徒を対象に公募と人選を行ないました。
- （3） 寄附行為を最新の法令に沿うよう、且つ学校運営がスムーズに進むよう整理し、改訂を行ないました。
- （4） 学校生活の安全を確保するために、本校舎の外壁タイルの大規模な修繕を行いました。

- (5) 梅ヶ島研修所「和荘」の設備等の修理及び取替えを行いました。

3. 財務の概要

予算と決算の突出する差異、または大きな問題となる差異はありませんので、前年度決算との対比を加えながら報告します。

<収入の部>

- (1) 学生生徒納付金収入はほぼ予算通りとなりましたが、H29年度の新入生入学者数は140名であり、前年に比べ30名の減少でした。退学者は前年に比べ減少したものの入学者の減少は大きく響き、前年対比96.7%（△5,739千円）となりました。
- (2) 寄付金につきましては、予算より増えていますが、創立100周年記念事業募金の寄付金が集まり始めましたので、その分が計上されました。
- (3) 補助金収入も予算通りでしたが、静岡県からの経常費補助金は前年対比98.4%（△3,107千円）の減少、静岡市からは前年対比96.4%とやはりこちらも入学者数の減少が影響しています。
- (4) 前受金収入は、前年対比96.5%（△852千円）と減少しています。平成30年度新入生138人の入学時納付金です。昨年より入学者が2名減少と特待生のバランス等が若干影響しています。

<支出の部>

- (1) 人件費は予算を大目に計上しましたので差異は出ていますが、前年対比ですと、100.1%とほぼ横ばいで推移しています。
- (2) 教育研究経費としては、毎年予算を大目に見積もっていますので、例年並みの差異は出ています。前年対比で大きく突出しているものに授業料減免費があります。前年対比で149.8%（+4,248千円）となります。これは授業料減免費の保護者への返金時期を毎年10月に行っていたものを1月に変更したことにより、3ヶ月分の授業料の返金分が増えたことによるものです。
その他、修繕費として、8月に校舎の外壁タイルの修繕工事（約2,000千円）を行いました。
- (3) 管理経費全体も無難な予算を組みましたので、例年並みの差異は出ています。管理経費の前年対比の実質中身としては、前年並みの水準でした。
- (4) 施設関係支出では、梅ヶ島研修所「和荘」の給排水設備修理工事の計上があります。

- (5) 設備関係支出では、教育研究用機器備品支出で研修所のボイラー・給湯器及びコピー機の計上があります。管理備品支出では、AEDの更新購入の計上があります。
- (6) 平成29年度の引当特定預金は、減価償却引当特定預金5,000千円、校舎建替引当特定預金60,000千円、それぞれ繰り入れました。

総括として、生徒数の減少の中、支出の部では常に経費節減に努めて参りましたが、引き続き教職員はもちろんのこと、生徒にも更なる節約意識や物の大切さを啓蒙することも必要と考えます。

収入の部では生徒数の減少により、納付金に大きく影響し、それと同時に経常費補助金にも大きく影響して来ます。益々少子化問題は学校経営にとって、避けては通れない問題であります。創立100周年を契機に、本校の特色を強力にアピールし、学生数の確実な確保と維持を実現し、「誠実」「温雅」「適応」の教育精神に則り、信頼ある校風作りが堅実経営の基本になって行くと考えます。